バリアフリーマップ プロジェクト

岡山理科大学経営学部イノベーション・ラボセンター
＜岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」参加プロジェクト＞

1. 目的

「利用者にとって役に立つ」という観点から、

岡山市内の33駅のバリア（フリー）の状況を記した

バリアフリーマップを、

障害のある方と一緒に作成し、

岡山市のまちづくりに貢献する

2. 調査の体制

- 岡山市社会福祉協議会
- 岡山市都市整備局
  都市・交通部交通政策課
- 岡山理科大学経営学部

3. 成果物

- ➢バリアフリーマップ（**イラスト版**）
- ➢バリアフリーマップ（**動画版**）
- ➢バリアフリーマップの**紹介動画**
- ➢バリアフリーマップの**紹介パンフレット**

岡山理科大学経営学部イノベーション・ラボセンターホームページ
http://www.mgt.ous.ac.jp/ilab

岡山理科大学経営学部イノベーション・ラボセンターホームページ

岡山理科大学経営学部
イノベーション・ラボセンター
Innovation Lab Center, Faculty of Management, Okayama University of Science.

岡山理科大学 経営学部

ホーム | イノベーション・ラボセンターについて | プロジェクト | パートナー企業 | 企業・自治体・団体の皆さまへ | 新着情報 | 資料請求

ホーム > プロジェクト > 岡山市内33駅バリアフリーマップ作成・プロジェクト研究

プロジェクト
▸ プロジェクト一覧

What's イノベーション・ラボ?

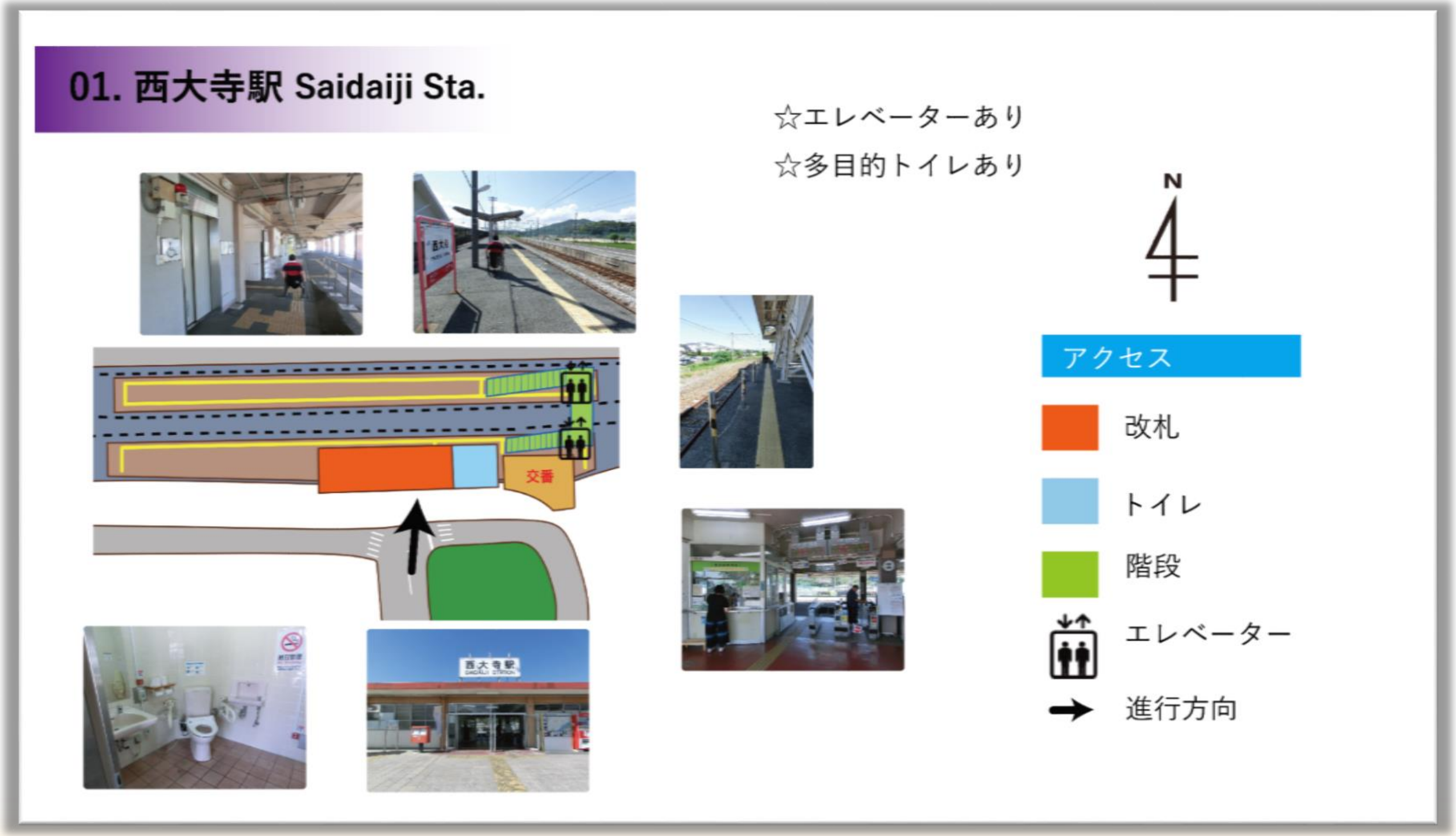
資料請求

プロジェクト

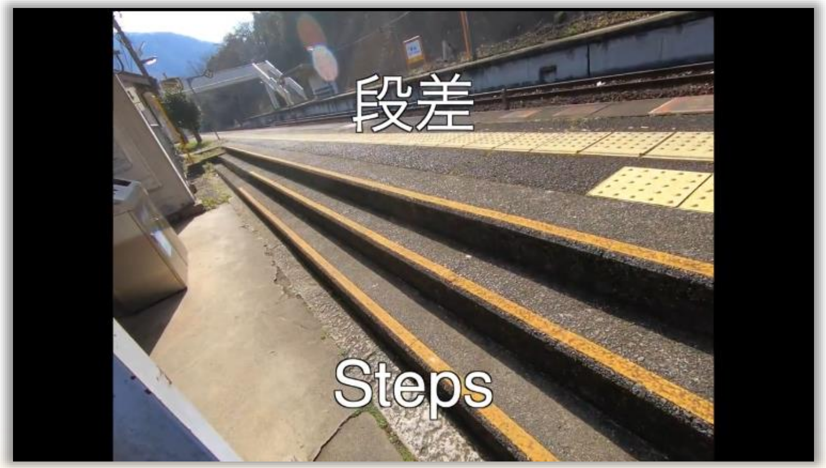
岡山市内33駅バリアフリーマップ作成・プロジェクト研究

実施年	2018年度
協力	岡山市都市整備局都市・交通部交通政策課、岡山市社会福祉協議会、岡山市身体障害者福祉協会
キーワード	岡山市大学生まちづくりチャレンジ事業、都市整備
参加学生	社会情報学科3年生12名
参加教員	3名

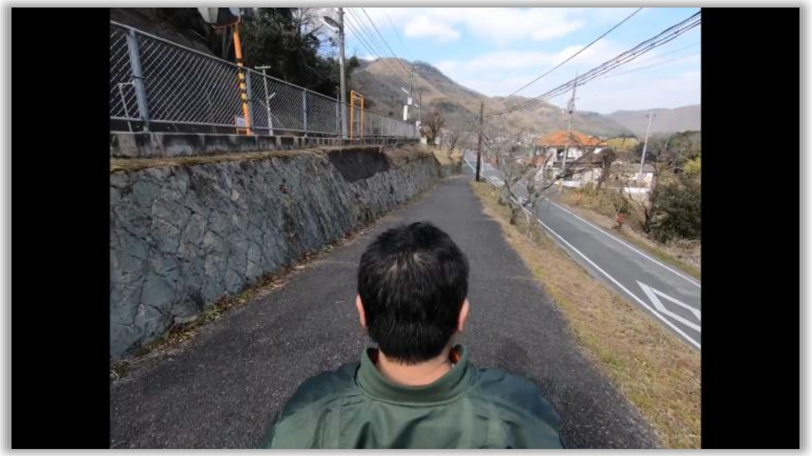
バリアフリーマップ（イラスト版）



バリアフリーマップ（動画版）



バリアフリーマップ（動画版）



バリアフリーマップの紹介動画

バリアフリーマップの紹介パンフレット

岡山理科大学の学生と車いす利用者が一緒につくった

岡山市内33駅
バリアフリーマップのご案内

Guidance of the Barrier Free Maps of 33 Stations
in Okayama City *by OUS Students & Wheelchair Users*

岡山理科大学　経営学部　イノベーション・ラボセンター
平成30年度 岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」参加プロジェクト

バリアフリーマップのイラスト版（PDF）と動画版は、上記のQRコードよりアクセスすることができます。

For access to the PDF file and videos of the maps, please scan the QR code above.

（協働）
岡山市都市整備局都市・交通部交通政策課
岡山市社会福祉協議会

岡山市「大学生まちづくりチャレンジ事業」の一環として、岡山理科大学の学生と車いす利用者が、お互いに協力して、車いすやベビーカーの利用者の機会平等を達成できるように、市内33駅すべてを調査し、バリアフリーマップ（イラストと動画）を作成しました。

The students of Okayama University of Science and wheelchair users researched physical barriers at 33 train stations in Okayama city and then published customized maps and videos in cooperation with each other in order to achieve equal opportunities for those who use wheelchairs or baby carriage as part of *the Community Development Projects by University Students under the auspices of Okayama City.*

このバリアフリーマップは、岡山理科大学の12名の学生が、障害のある方々と一緒に作成したところに最大の特徴があります。
車いすを利用する当事者の視点から、坂本啓治さん、上岡玄治さん、小山賢一さんは、学生に貴重な専門的助言を下さりました。

The biggest feature of the project is that Eleven students of Okayama University of Science and persons with disabilities collaborate to make barrier free maps. Mr. Sakamoto, Mr. Ueoka, and Mr. Koyama provided the students with professional and important advice as wheelchair users.

4. 最大の特徴は「プロセス」

車いすユーザーと一緒にマップを作成

5. 想定されるマップの利用者

- 車いすユーザー
- 足が不自由な方々
- ベビーカーや乳幼児を連れた方々

＊外国人のための英語字幕

6. 残された課題

このマップは

視覚障害・聴覚障害のある方、

知的障害・発達障害・精神障害のある方などの

ニーズに応えられていない

7. 私たちの成長

- これまで意識してこなかった
  深刻な障壁(バリア)の存在への認識
- 障壁除去(バリアフリー)の重要性への理解
- チームワーク・役割分担・社会技能の大切さ

Thank you for your attention.